

研究内容

外来植物のリスク評価と蔓延防止策

★外来植物の問題点

非意図的な侵入
(輸入飼料・貿易)

意図的な導入
(牧草・園芸・新作物)

定着分布
拡大要因

気象・土壌条件適合性、
種子生産性、生長速度、
病虫害の欠如、他感作用

爆発的な繁殖

- 日本固有の植生と交替
- 遺伝子汚染
- 希少固有種の絶滅

日本に定着している
外来植物は1,553種

微生物・昆虫・動物・人間にも影響

問題となっている場所

小笠原諸島や琉球列島のような独立島，河川敷，里地里山，
湿原，国立公園，農耕草地や樹園地周辺，都市緑地，遊休地，
荒廃地，道路や鉄道の法面，水路周辺，湖沼周辺

★国家的な要請

「新・生物多様性国家戦略」2002
「特定外来生物被害防止法」2004

(2005年6月1日施行予定)

本プロジェクトの実施内容

- ① 生物多様性へ影響を及ぼす外来植物の実態把握と蔓延要因の解明
- ② 日本独自の、「生態系影響リスク評価法」の開発
- ③ 防除・注意すべき植物を特定→「防止法」の根拠
- ④ 防除すべき外来植物の駆除法・抑制法と、植生復元技術を開発し、現地での実証試験を行う



外来植物の防除と自然再生